

活水同窓会ラッセル奨学金チャリティーコンサート

復活祭を 長崎でII

バッハ・コレギウム・ジャパンのソリスト達、
長崎メサイアシンガアロングのみなさんと
「メサイア」を歌いませんか!

2023 **4.16** (日) 14:30開場
15:00開演

(リハーサル/4月15日15:30~17:30, 16日13:30~14:15)

浦上天主堂 (長崎市本尾町1-79)

長崎本線(JR九州)「浦上駅」より車・タクシーで約5分
長崎県営バス・長崎バス「浦上天主堂前」より徒歩1分
路面電車:長崎電気軌道「平和公園電停」より徒歩8分

入場料/一般:3,000円 高校生以下:500円
(全席自由)

G.F.ヘンデル 作曲

オラトリオ

メサイア

より 抜粋

指揮/青木 洋也

合唱/長崎メサイアシンガアロング



指揮・フルト/青木 洋也



ソプラノ/澤江 衣里



テノール/藤井 雄介



バリトン/原田 圭



オルガン/浅井 美紀



チェンバロ/重岡 麻衣



トランペット/斎藤 秀範

- 未就学児は入場できません
- 会場には駐車場はございません
- 新型コロナウイルス感染症対策を行います
- マスクのご着用をお願いいたします

【合唱一般参加】

長崎メサイアシンガアロングと共に歌いましょう。ハレルヤだけでも参加可能です。
どなたでもご参加ください(入場料のみで参加できます)

使用楽譜:ノヴェロ版

【チケットお取り扱い】絃洋会楽器店 095-821-2326 / 活水同窓会 095-822-7365

【主催】活水同窓会 【共催】「長崎で教会音楽を」実行委員会

【後援】長崎県、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、NHK長崎放送局、NIB長崎国際テレビ、NCC長崎文化放送、KTNテレビ長崎、NBC長崎放送、長崎新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、活水学院 【お問い合わせ】活水同窓会事務局 095-822-7365



青木 洋也〔指揮・アルト〕

東京生まれ。ヴァイオリンを学ぶ傍ら、ボーイ・ソプラノとして東京少年少女合唱隊時代より活躍。東京藝術大学大学院で古楽演奏、エリザベト音楽大学大学院で宗教音楽学を学び、在学中より定期的に渡欧して研鑽を積む。バッハ・コレギウム・ジャパンの主要メンバーとして国内外の公演・録音に参加している。ソロCDは、2022年10月に最新アルバム『親愛なるザクセン人―ハッセ―ヘンデル作品集―』を発売。その他に『あなたが音楽そのものだ』とデュエット&ソロ』など7枚をリリースしている。レコード芸術特選盤、朝日新聞『your Collection』ではソフトで華のある歌唱が往年の名歌手アルフレッド・デラーに例えられる

等、いずれも好評を得ている。合唱指揮者としても活躍しており、国内のみならずニューヨーク・カーネギーホールやブラッドヴォルザークホールなどの著名ホールでバッハ『ミサ曲短調』ヴェルディ『レクイエム』などを指揮し大成功へと導いている。音楽誌上で「隙のない音楽づくりと、そのナンバーにふさわしい情景描写の的確さ、声楽・器楽の見事なまとめ方は、彼の適応性とこれまでの経験の基盤がモノを言っている」など高く評価されている。パーセル・プロジェクト代表、日本キリスト教団聖ヶ丘教会音楽主任および聖歌隊長。【ホームページ】<http://www.hiroyaaki.com>



浅井 美紀〔オルガン〕

東京藝術大学音楽学部卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。安宅賞、アカンサス音楽賞受賞。横浜みなとみらいホール・オルガニスト・インターンシップ1期修了。オルガンを池田泉、廣野剛雄、早島万紀子、三浦はつみ、通奏低音を今井奈緒子、廣野剛雄、チェンバロを故小島芳子の各氏に師事。これまでに東京藝術大学助手、青山学院高等部講師を務めたほか全国各地において演奏会を行っている。現在、青山学院高等部オルガニスト、水戸芸術館「幼児のためのパイプオルガン見学会」オルガニスト。(一社)日本オルガニスト協会、日本オルガン研究会会員。



澤江 衣里〔ソプラノ〕

島根県益田市出身。国立音楽大学卒業。東京藝術大学大学院修士課程及び博士課程修了。英国歌曲研究により博士号取得。日本学術振興会より奨学金を得て、ロンドン留学。第79回日本音楽コンクール2位入賞。第11回東京音楽コンクール最高位。声楽を永井和子、佐藤峰子に師事。2006年よりバッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)のアンサンブル・メンバーとして研鑽を積む。ソリストとして読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、BCJと共演。『ロ短調ミサ曲』、『メサイア』、『ドイツ・レクイエム』、『カルミナ・ブрана』やロイド・ウェバー『レクイエム』など後期バロックから現代まで幅広いレパートリーを持つコンサート歌手として活躍している。NHKテレビ番組『名曲アルバム』『バッハのコーヒエ・カンタータの演奏』やNHK-FM『リサイタル・ノヴァ』に出演し好評を得た。東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。島根県ふるさと親善大使・遣島使。



重岡 麻衣〔チェンバロ〕

東京藝術大学古楽科チェンバロ専攻卒業。同大学院修士課程古楽科フォルテピアノ専攻修了。ブルージュ国際古楽コンクール奨励賞受賞。ブリュッセル王立音楽院を名誉賞付きディプロマを得て卒業。これまでにチェンバロ・通奏低音を鈴木雅明、フォルテピアノを小島芳子、ボヤン・ヴォデニチャロフ、ビート・クイケンに、チェンバロ・オルガン・フォルテピアノによる通奏低音奏者として多数参加している。2008～13年までベルギー・アントワープ王立音楽院フォルテピアノ科客員教授。現在は東京を中心にソロ、アンサンブル等の活動を活発に行うと同時に、後進の指導にも力を入れている。



藤井 雄介〔テノール〕

大分県大分市出身。広島大学教育学部音楽科卒業後、東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、同大学院修士課程および博士課程修了。ルネサンスから現代作品まで宗教曲・オペラ・歌曲の各分野で活躍するとともに、童謡・唱歌やポピュラー分野での活動も行っている。これまでに、バッハ『マタイ受難曲』、『ヨハネ受難曲』の福音史家およびテノールソロ、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『交響曲第9番』、メンデルスゾーン『エリヤ』、『聖パウロ』、シューマン『薔薇の巡礼』、『ドヴォルザーク』、『スターバト・マーテル』、『コダーイ』、『ミサ・プレヴィス』など、主に宗教的声楽作品のソリストを多数務めている。バッハ・コレギウム・ジャパン(鈴木雅明音楽監督)ではソリストおよび声楽メンバーとして国内外における多数公演・録音に参加している。2015年にはアメリカ・フィラデルフィア・メンデルスゾーン・クラブによるバッハ『マタイ受難曲』(メンデルスゾーン編曲版)公演に福音史家として出演した。現在、広島文化学園大学准教授。



斎藤 秀範〔トランペット〕

1977年生まれ。東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。バッハ・コレギウム・ジャパン並びにオルケストル・アヴァンギャルド、トランペット奏者。またオーケストラ・シンポジオンやコンセル・エクストラ・福岡をはじめとする国内の様々な古楽団体の他、バッハ・ゾリステン・ソウルやカメラータ・アンティカ・ソウル(共に韓国)、デ・コンツェルティステン(香港)などの海外の団体からも招聘を受けるなど、国内外の団体との演奏・録音を数多く行っている。またメディアにおいては、NHKの音楽番組『ららクラシック』や、テレビ朝日『匿名のない音楽会』のトランペット特集回や、NHKのラジオ番組『古楽の楽しみ』にゲスト出演をし、演奏・解説を行い、いずれも好評を得ている。2022年4月より斎藤秀範 バロック・トランペット・コンサート『Baroque Trumpet and...』シリーズを開始しバロック・トランペットの魅力伝える活動も行なっている。Japan Historical Trumpet Project(JHTP)主宰。



原田 圭〔バリトン〕

東京藝術大学卒業。同大学院博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。在学中に安宅賞受賞。『藝大メサイア』公演のソリストとしてデビュー。第16回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、中田喜直賞受賞。第77回日本音楽コンクール声楽部門入選。オペラでは新国立劇場、二期会、日生劇場をはじめ数多くのプロダクションに出演。コンサートではバッハ『マタイ受難曲』、ハイドン『四季』、ベートーヴェン『第九』、ブラームス『ドイツ・レクイエム』等のソリストとして多数出演。その他ウィーンにてシューベルト『冬の旅』のリサイタル、ブラウ国立歌劇場管弦楽団モーツァルト『レクイエム』、韓国ヘンデル・フェスティヴァル『メサイア』に出演する等、国内外で活躍している。2014年と2016年には歌劇『夕鶴』公演(故・佐藤しのぶ主演)に運ず役で全国ツアーに参加、好評を博した。NHK『名曲アルバム』に出演。CDでは、オペラ『ニホザル・スキトリメ』(第17回佐川吉男音楽賞受賞公演)、モーツァルト・シンガーズ・ジャパン『ドン・ジョヴァンニ』、信時潔『海道東征』がリリースされている。千葉大学教育学部音楽科、日本大学芸術学部非常勤講師。二期会会員。

復活祭を長崎でII

今年も「復活祭を長崎で」を開催することになりました。キリストの復活をイースターの季節に「メサイア」を歌ってお祝いを楽しみます。長崎メサイアシンガロングのメンバーを中心に、日本を代表するバロック音楽の軸、バッハ・コレギウム・ジャパンの素晴らしい指揮者・ソリストたちに支えていただき開催いたします。当日参加希望OK！ハレルヤだけ歌うのもOK！ちょっと不思議な試みのコンサートです。だから興味深い！！殉教の地、浦上天主堂。窓から七彩の淡いステンドグラスの光が差し込む祈りの聖堂。長崎から世界の平和を願い、メサイアを歌って復活祭のお祝いをいたしましょう。沢山の方にこの光景の一員になって頂きたい想いでいっぱいです。ご来場をお待ちいたしております。

活水同窓会会長 永吉 美恵子

【長崎メサイアシンガロング】

長崎メサイアシンガロングは、2007年に活水学院の大チャペルで初回を開催しています。現顧問の松藤雅彦氏の情熱とリーダーシップにより、2019年3月まで順調に12回を重ねました。2020年からはコロナ禍だったため断念せざるを得ませんでした。2022年「復活祭を長崎で」に引き続き、今回は会長加納孝代氏、実行委員長竹下知子氏のもとその実力で公演を支えてくださいます。昨年に引き続き国内外に名を馳せるバッハ・コレギウム・ジャパンでも活躍のカウンター・テナー(指揮・アルト担当)の青木洋也氏と、ほか6名の仲間を迎えてのコンサートになります。

常任指揮者／加藤 豊(活水女子大学名誉教授・作曲家・指揮者)
練習ピアニスト／石川 鮎美(長崎女子高等学校非常勤講師)ほか・下条 絵理子(活水女子大学非常勤講師)ほか